主題：神の建造の内在的な構成を知り経験する

メッセージ　17

神の建造のための神の動き

聖書：ヨハネ4:14後半．マラキ5:2．ホセア11:4前半．詩68:1，5-6前半，11-13，18-20，26-35前半

Ⅰ．わたしたちは、神の建造のために神のエコノミーを遂行する神の究極的な動きのための神の中心的な啓示についての主の回復を見る必要があります。主の回復とは、神が肉体と成り、肉体が命を与える霊と成り、命を与える霊が七倍に強化された霊となって召会を建造し、召会がキリストのからだとなり、キリストのからだが新エルサレムを究極的に完成するということです――使徒26:16-19．エゼキエル1:1-3．ヨハネ1:14．Ⅰコリント15:45後半．啓4:5．5:6．参照、マタイ1:23．エゼキエル48:35：

Ａ．聖書全体は、旅をする三一の神、すなわち、流れる三一の神の自叙伝です。流れる三一の神は、わたしたちが彼の開いた器となることを必要とします。それは、彼がわたしたちと完全にミングリングリングされ、合併されて新エルサレムとなることができるためです――ヨハネ1:1，14．20:22．Ⅰコリント15:45後半．ヨハネ4:14後半．詩36:8-9．エレミヤ2:13．Ⅱコリント4:7．ローマ9:21，23．啓22:1。

Ｂ．人は神の動きの中で動き、神聖な霊がわたしたちの人の霊の中で共にミングリングされて一つ霊となることによって、人の動きの中で神は動きます。あなたの霊の中で神聖な霊に触れ、神聖な霊によって生き、神聖な霊に従い、神聖な霊によってすべてのことを行ない、神聖な霊によってすべての状況に向き合うことを学んでください。これがクリスチャン生活、クリスチャンの働き、人の中の神の動き、神の中の人の動きであって、神のエコノミーを成就します――ローマ8:16．Ⅰコリント6:17．ガラテヤ5:25．ピリピ3:3．ローマ1:9．啓1:10．4:2．17:3．21:10。

Ｃ．キリストはベツレヘムから来られましたが、彼が行くことは遠い昔、すなわち、永遠の日からです。キリストが行くこと、彼が現れることは継続的な事柄です――ミカ5:2。

１．キリストの受肉の時、彼は始めて出て来て、彼の人の生活、死、復活、昇天、彼がご自身を彼の民の中へと分与すること、人の住む全地へ福音を宣べ伝えることを通して彼が拡大されることを通して、続けて行かれました――マタイ5:3，8．24:14。

２．キリストが行かれること、彼の現れは、彼が力ある者としての勝利者たちと共に戻って来て、反キリストを打ち破り、反キリストを火の池の中へと投げ込むとき、サタンがアビスの中へと投げ入れられるとき、キリストがご自身の御座を設立し、王として支配するときに究極的に完成します――ヨエル3:11．啓19:19-20．20:2-3．マタイ25:31，34，40。

Ｄ．神の愛は神聖ですが、神の愛は、キリストの人性を通してわたしたちに届きます――「わたしは、人の綱、愛のきずなで彼らを引いた」――ホセア11:4前半：

1．永遠の過去、神が子たる身分へとわたしたちをあらかじめ定めたことは、彼の愛によって動機づけられていました――エペソ1:4-5。

2．神の神聖な愛は、受肉、人の生活、十字架、復活、昇天の過程を通して彼が人性において時間の橋を越えて旅をすることによって、永遠から届きます。これらの過程は、ご自身の人性においてわたしたちを彼ご自身に縛りつける「人の綱」であり、彼の神性においてわたしたちを彼ご自身へと引き寄せる「愛のきずな」です。それはわたしたちを法理的に贖い、わたしたちを有機的に救って彼の栄光の召会、彼の麗しい花嫁とならせるためです――ローマ5:10．エペソ5:25-27。

Ⅱ．詩篇第68編は、地上における神の動きの中心としてのキリストを啓示しています。シナイからシオンまでの契約の箱を伴う幕屋における神の動きは、キリストの受肉から彼の昇天までの神のすべてを含む具体化としてのキリストにおける三一の神の動きと、召会の中心としてのキリストを伴う召会において、また召会を通しての神の動きを予表しています――ヨハネ1:17．使徒16:6-7．啓2:7：

A．「神よ、立ち上がってください．彼の敵は散らされよ．彼を憎む者は彼の御前から逃げ去れ」――キリストの予表である契約の箱が行く所はどこであれ、勝利が得られました――詩68:1．民10:35．詩68:12前半，14．エペソ6:12．マラキ4:2。

B．「みなし子の父、やもめの裁きつかさは、聖なる住まいにおられる神である。神は孤独な者を家族の中に住まわせ、囚人を繁栄へともたらされる」――神は貧困の者、縛られた者、孤独な者を召会の中に住まわせられます――詩68:5-6前半、エペソ2:22。

C．「主は命令を与えられる．喜ばしいおとずれを担っている女たちは大軍である」――これらのイスラエルの女たちは、神の動きの中で神の愛でもって神を愛し、神の祈りをもって神に祈り、神を与えることによって神に与え、行動される神によって神と共に行くことによって福音を広めます――詩68:11．45:1．Ⅱコリント5:14．ルカ6:12，38．啓14:4．ダニエル11:32後半。

D．「家に住んでいる彼女が獲物を分ける」――キリストの死、復活、昇天の勝利の刈り取りとしてのキリストの完成、究極的完成、到達、獲得です――詩68:12後半。

E．「はとの翼は銀で覆われ、その羽は緑がかった黄色の金で覆われる――この節は、獲物の間の四つの項目を啓示しています――13節後半。

1．はとの翼は、その霊の動く力を表徴し、銀は、わたしたちの義とするための贖いにおけるキリストを表徴します。それは白色、すなわち、承認の色によって示されます。風切り羽（鳥の翼の先端部分の羽であり、飛んで舞い上がる力を翼に与える）はその霊の飛び、舞い上がる力を表徴します。緑がかった黄色、光り輝く金で風切り羽が覆われたことは、神聖な命と栄光の中で光り輝く神の性質を表徴します――マタイ3:16．イザヤ40:31．Ⅱペテロ1:4。

2．神の民の享受のためのキリストの勝利における獲物としての上記の四つの項目の内容は、実は、全体的で、完全な、すべてを含む救いの項目すべてを伴う三一の神です――参照、ローマ5:10，17．21。

3．「主はほむべきかな．彼は日ごとにわたしたちに善きものを与えられる．神はわたしたちの救いである。セラ」――ここの善きものは、三一の神、すなわち、銀で

覆われたはとの翼と、緑がかった黄色、すなわち、光り輝く金で覆われたその風切り羽です。神の民は上記の項目のすべてをキリストの中にある彼らの分け前として享受し、それらを喜ばしいおとずれとして他の人に告げ知らせます――詩68:19，13後半，11．ローマ8:28．マタイ19:17．ピリピ1:19-21前半。

F．「あなたは高きへ昇られた．あなたはとりこにされていた者たちを、とりことして引いて行かれた．あなたは人々の間で、反逆する者たちの間でさえ、賜物を受けられた．それは、エホバなる神が、彼らの間に住まわれるためである」――詩68:18：

1．「とりこにされていた者たち」は、贖われた聖徒たちを指しています。彼らはサタンによってとりことされ、キリストの死と復活によって救われる前、閉じこめられていました。キリストはサタンを打ち破り、ご自身のとりこ（わたしたちを含む）を捕らえました。それから、ご自身のとりこを導く将軍のように、キリストは彼の昇天においてわたしたちを御父へと導きました――参照、Ⅱコリント2:12-16前半。

2．詳訳新約聖書は、エペソ人への手紙第4章8節の「彼は……とりこにされていた者たちをとりことして引いて行き」を「彼は征服された敵の行列を引きいていき」と訳しています。キリストの昇天において、キリストの勝利を祝うために、戦いからとりことして引いて行かれた征服された敵の行列がありました。

3．わたしたちは、キリストによって捕らえられ、キリストによって御父にささげられ、それから御父によって賜物としてキリストに与えられました。キリストによって受け取られた賜物は、賜物のある信者たちとなり、彼は、彼らをその建造のためにご自身のからだに与えられました――詩68:18．エペソ4:7-8，11-12。

G．「神はわたしたちにとって救いの神である．主なるエホバには、死から免れることがある」――わたしたちが神をわたしたちを救う命、すなわち、復活の神として享受するとき、わたしたちは死から免れます――詩68:20，24．ローマ5:10．Ⅱコリント1:8-9．4:16-18。

H．「会衆の中で神をほめたたえよ．イスラエルの泉から出た者よ、エホバをほめたたえよ。そこには彼らを支配する若いベニヤミンがおり、彼らの仲間たちの中にユダの首長たちがおり、ゼブルンの首長たち、ナフタリの首長たちがいる。あなたの神は、あなたの力に命じられた．神よ、あなたがわたしたちのためになされたことを、強めてください」――詩68:26-28。

1．悲しみの子として、ベノニはキリストを予表します。キリストは悲しみの人として、彼の受肉と地上の人の生活において、彼の完全な救いのために神の永遠の贖いを達成されました。右の手の子として、ベニヤミンはキリストを予表します。彼は右の手の子として、彼の復活、勝利、昇天において、天で務めを行なって、彼の救いのための神の贖いの適用を遂行します――創35:18．イザヤ53:3。

2．ユダは神の民のための勝利（力と王権を伴う獅子）、また神の民に対する平和（シロ）としてのキリストを予表します。彼の受肉から復活まで、彼はベニヤミンであり、彼が神聖な権威をもって支配することから平和の君として戻って来るまで、彼はユダです――啓5:5前半．創49:8-10。

3．ゼブルンは、輸送のため、また神の福音の宣べ伝えにおける拡大のための伝道者

たちの「港」としてのキリストを予表します。ペンテコステの日、少なくとも百二十人の福音の「船」が送り出されて、福音を拡大させました。彼らはみなガリラヤ人でした――13節．使徒1:14。

4．ナフタリは、「放たれた雌じか」で表徴されている（創49:21．詩22篇，主題．18:33．雅2:8-9）復活において死から解放された方としてのキリストを予表し、福音の宣べ伝えのために美しい言葉を語ります（マタイ28:18-20）。予表において、ゼブルンとナフタリは、群れを形成し、神の救いのためのキリストの贖いについての喜ばしい知らせを拡大させ、増殖させます。

Ⅰ．「神よ、あなたがわたしたちのためになされたことを、強めてください。エルサレムでのあなたの宮のゆえに」――神がご自身の民のためになされたことを強めることに続いて、神の家における神の享受の影響がエルサレムの都全体に広がります――詩68:28後半-29前半．参照、エペソ3:16-17前半．ヨハネ16:13。

Ｊ．神の家また神の都神の建造における神の享受の影響は、神のために全地を得ます――詩68:29後半-35．マタイ19:28．イザヤ2:2-3．ゼカリヤ14:16-17．啓21:24

Ｋ．「神よ、あなたはあなたの聖所から畏るべきものです。イスラエルの神、彼は、力と勢力を民に与えられます。神はほむべきかな！」――詩68:35。

©2006 Living Stream Ministry